

ひしのみ

【学校目標】 たくましく かしくともに生きる

中部小の合言葉「あ そやな」

今年度の新しい取り組みとして、自分も幸せにする、周りも幸せになる合言葉を考えました。それは、「ありがとう」(感謝の言葉)、「それいいね」(褒め認める言葉)、「やってみよう」(挑戦を促す言葉)、「なるようになる」(前向きな気持ちになる言葉)です。この4つの頭文字をとって「あ そやな」。関西弁っぽいですが、この言葉を子どもたち同士で、先生たちから子どもたちへと、どんどん使って、みんなが幸せな気持ちになるようにしていきます。お家でも、どしどし使ってください。

入学式について

新型コロナウイルス感染拡大により、先日「緊急事態宣言」が出されました。

「三密」(密集、密接、密閉)を避けることが叫ばれています。そこで、入学式の会場に入る人数を減らすために在校生は6年生だけにし、2年生から5年生までは教室で学習することにします。それにともない、教員も半数ほど校舎に残ることとしました。また、座席の間隔を1メートル空けるために、6年生と教員で1年生を囲むような体形とさせていただきます。みんな、かわいい1年生を見たいし、みんなでお祝いしたいという気持ちを持っているのですが、ここは我慢。しっかり用心しながら進めさせていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

新年度になっての変更点について

学校を運営するにあたっては、文部科学省発行の「小学校学習指導要領」に従いながら進めるようになっておりますが、本年度から「新学習指導要領」が本格実施となります。それに伴って、英語、外国語の時間数が増えるため、全体の授業数も増えることとなります。また、ニュース等で聞かれていることと思いますが、「教員の働き方改革」が叫ばれ、超勤時間の削減が求められています。今年度は新型コロナ感染拡大の影響もあって、これまで当たり前に行っていたことが行えない、学校教育の「岐路」を迎えそうです。まず、2点、千代田中部小学校として大きく変更したことがありますので、お知らせします。

1) 家庭訪問の簡素化

いつもはお家にお邪魔して、お子さんの様子等を聞かせていただいていたのですが、今年度からは、時間も5分程度と短縮し、玄関先で失礼させていただきます。家庭訪問の目的として、①お家を確認し、登下校等の安全確認、家庭に帰ってからの生活の確認を行う。②保護者の方と直接お会いすることで、今後より密な連携ができるようにする。この二つが大きく上げられます。家庭訪問をなくすという案も出ましたが、やはり子どもたちの教育はご家庭の協力なしには成り立ちませんので、今年度はこのような形で実施させていただきます。ちょっとだけお伺いさせていただきますので、お構いなく、気を遣われませんようにお願いします。(追伸：6年生は、担任が昨年度と代わっておりませんので、2つの目的はクリアしているため、希望される方のごとのみ、お伺いすることとします。)

2) 校時の変更

千代田中部小学校の子どもたちは、ご家庭のご協力のおかげで、8:00には登校できており、朝から奉仕活動をしたり、読書をしたりとしっかり活動できています。そこで、これまで1時間目のスタートを8:45としておりましたが、今年度からは8:25と20分繰り上げます。それに伴って下校時刻が20分早まることとなります。大切な時間を自ら判断して過ごす「賢さ」を身に付けてもらいたいと思っております。ご協力よろしくお願いします。